



さつま町立 中津川小学校

児童数 37人
学級数 5クラス



テーマ

人とのかかわりを大切にしながら、人権意識を高め、未来を切り拓く子の育成
～ 学校・地域の特性を生かして～

研究に当たって(テーマ設定の理由)

地域に根ざし、地域に開かれた中津川小学校において、学級・家庭・地域が連携して児童の人権感覚の高揚を図り、児童を取り巻く人的な課題等に対しても児童自身の正しい判断で対応できる力を高めることは重要である。そこで、本テーマを設定した。

研究スケジュール

6月15日(月)	第1回研究授業(2年)
7月6日(月)	第2回研究授業(特別支援学級)
7月29日(水)	人権同和教育研修会(職員)
10月19日(月)	第3回研究授業(1年)
11月4日(水)	人権教育講演会(保護者・地域住民)
11月16日(月)	第4回研究授業(3・4年)
1月25日(月)	第5回研究授業(5・6年)
1月28日(木)	人権集会(全校児童)

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

□ 「人権同和教育研修会」

校内研修に、県教育庁人権同和教育課から講師を招き、直接指導をいただいた。児童の人権意識を高める手立てや、職員の人権に対する理解と認識を深めることができた。



【人権同和教育研修会】

□ 「人権教育講演会」

県教育庁人権同和教育課から講師を招き、保護者・地域住民を対象に、「子どもの人権を『守り』『育む』環境づくり」と題した人権教育講演会を実施した。家庭や地域の人権擁護の環境を整える重要性を認識できた。

□ 「人権集会」

はじめに、全校児童全員が、一人ずつ自分の作った人権標語を發表した。次に、県教育庁人権同和教育課の講師による講話をいただいた。児童一人一人が人権を尊重することの大切さに気付くことができた。



【人権集会での人標語発表】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 講師による講話により、人権に対する正しい理解と認識が深まった。
- 「一人一人を大切にすること」ということを全職員で共通理解し、児童への全校体制での指導等を行う上で、様々な教育活動の場で具体的な手立てをとることができた。